

# がんばってます神戸の農業 NO. 8 押部谷町

多彩な農産物の生産が行われ、多様な農村地域がある神戸市の農業委員の地元を順次紹介していきます。

今回は西区の押部谷町とそこで頑張っている若手農家の有田真也さんと中西秀暢さんをご紹介します。

## 押部谷町

西区の北部に位置し、櫛谷、平野、神出に隣接し、町の中心を明石川が流れています。

コシヒカリ、ヒノヒカリ等の稲作が盛んで、最近では化学農薬や化学肥料を減らし、環境への負荷を軽減して栽培された特別栽培米『おしべのゆめ』を生産・販売しています。

他にも、野菜や酪農、肉牛の肥育の他にイチゴ狩りが盛んであり、農業公園の周辺には香り高いモモの他にブドウやナシ等の広大な果樹団地が広がっています。



おしべのゆめ発足時の写真



瑞々しい収穫前のモモの様子

### ○がんばる若手農業者 1 (有田 真也 (しんや) さん 29歳)

1. 有田さんは両親と一緒に農業をされており、押部谷町細田で新規就農をしてから、今年で3年目になります。主にミニトマトやチンゲン菜等をビニールハウスで栽培しています。
2. 「自分の責任で自分のペースですることができ、色々な人と出会えて、経験ができることが農業の良いところ。今は半人前だが、規模を拡大し、消費者に求められる農産物をつくっていきたい。」と話された有田さんの姿はやる気に満ちていました。



有田 真也さん

### ○がんばる若手農業者 2 (中西 秀暢 (ひでのぶ) さん 44歳)

1. 中西さんは仕事を辞め、農業を始めて、今年で7年目になります。両親と妻と一緒に農業をしており、水稻の他に、農業公園の隣の果樹団地でモモやブドウの果樹を栽培しています。
2. 「農業の良いところは子供に農業をしている姿を見せられるところ。農業は収入が不安定で忙しい時期が重なると大変であるが、農業の経営基盤をしっかりし、農産物のブランド化を目指していきたい。」と熱意をもって、話されていました。



中西 秀暢さん

### ○住吉神社

住吉神社は1250年以上前の古くより歴史がある神社であり、本殿・四殿と正保4年の棟札は神戸市指定有形文化財に指定されています。

10月の体育の日を含む三連休には1年で1番大きな祭りである「例大祭」が催され、獅子舞や餅まき、ふとん太鼓の神輿が盛大に行われている様子が見られます。



住吉神社の祭りの様子